

イーストスプリング・ インド株式ファンド(3ヵ月決算型)

追加型投信／海外／株式

第35期(決算日:2016年9月15日)

第36期(決算日:2016年12月15日)

作成対象期間(2016年6月16日～2016年12月15日)

第36期末(2016年12月15日)	
基準価額	8,389円
純資産総額	12,284百万円
第35期～第36期 (2016年6月16日～2016年12月15日)	
騰落率	17.3%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド株式ファンド(3ヵ月決算型)」は、2016年12月15日に決算を行いました。

当ファンドは、主としてインドの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

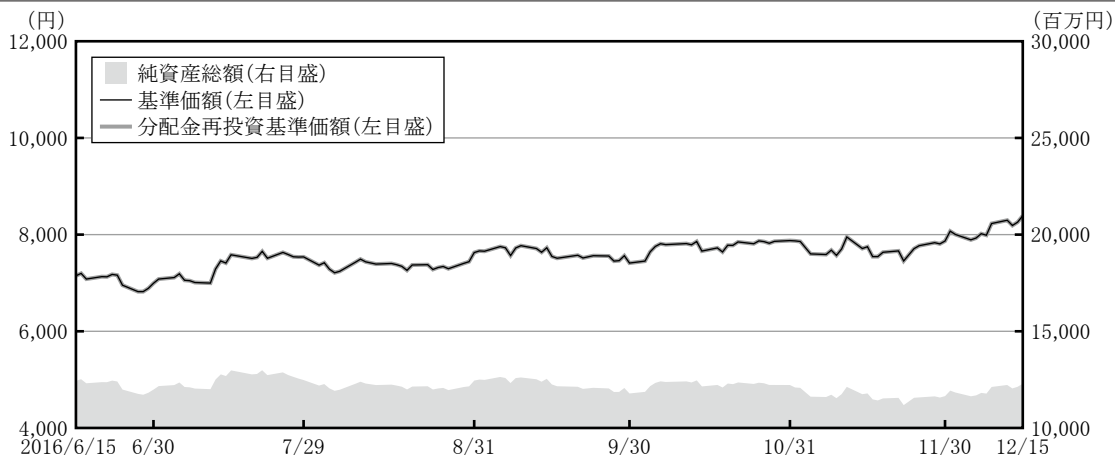
ホームページアドレス:<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第35期～第36期:2016年6月16日から2016年12月15日まで)



第35期首	7,149円
第36期末	8,389円(既払分配金0円)
騰落率	17.3%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

基準価額の主な変動要因

インド株式市場は通期では小動きにとどまりましたが、エネルギー株や非鉄金属株の保有がプラスとなったほか、米国大統領選挙後に大幅な円安米ドル高となる中でインドルピーが対円で上昇したことから、基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第35期～第36期 2016/6/16 ～2016/12/15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	50円	0.664%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、7,552円です。
(投信会社)	(20)	(0.271)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(29)	(0.379)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(1)	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	51	0.678	

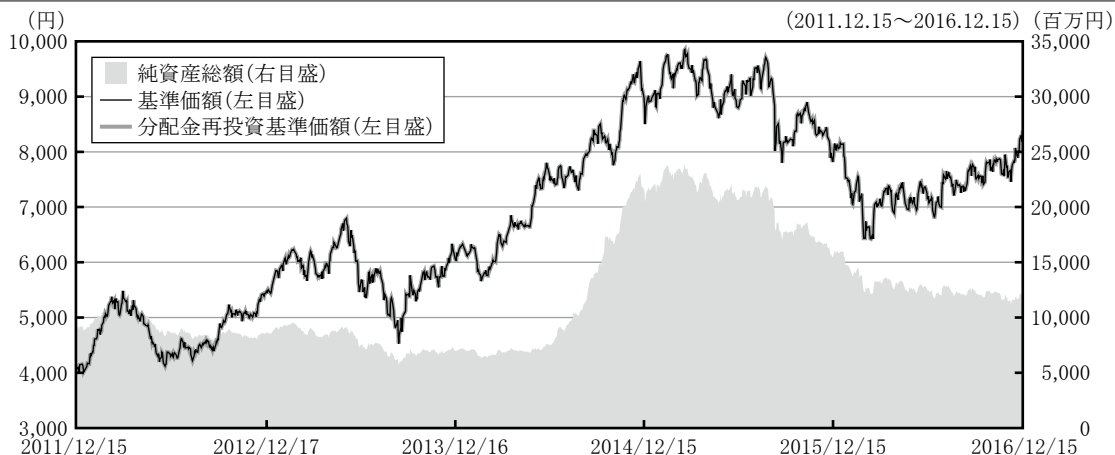
(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

決算日	2011/12/15	2012/12/17	2013/12/16	2014/12/15	2015/12/15	2016/12/15
基準価額 (円)	4,138	5,477	6,051	8,981	7,849	8,389
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	32.4	10.5	48.4	△12.6	6.9
純資産総額 (百万円)	9,281	8,631	6,974	21,572	15,487	12,284

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外株式市況

インド株式市場は、2016年のモンスーン期(雨季)の降雨量が平年並みで推移したことや、夏季国会(モンスーン国会)で物品・サービス税(GST)導入のための憲法改正案が上院を通過したことなどを受けて、当作成期初から9月初めにかけて堅調に推移しました。その後は利益確定売りに押されて上値が重くなりました。11月初めにはモディ首相により高額紙幣廃止が発表されたことを受けて、現金決済への悪影響から消費に下押し圧力がかかり景気が一時的に減速するとの見方が台頭したほか、米国大統領選挙後に新興国から資金を引き揚げる動きが出て、インド株式市場は調整し、通期では小動きとなりました。

○為替市況

インドルピーは、2016年6月下旬の英国国民投票でのEU離脱派勝利を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、対米ドル、対円ともに一時下落しましたが、7月中旬にかけて反発し、その後11月初めまで一進一退の動きとなりました。米国大統領選挙においてトランプ氏が勝利したのち、世界的に米ドル買いの動きが強まると、当作成期末にかけてルピーは対米ドルで下落しましたが、円も対米ドルで大きく下落したことから、対円では上昇しました。

○国内債券市況

日本国債市場は、2016年7月末まで日銀の長期国債買い入れオペによる需給逼迫化を背景に堅調(利回りは低下)となりました。しかし、7月末に日銀による国債買い入れ減額への警戒感から債券価格は大幅に下落(利回りは急上昇)し、さらに、11月の米国大統領選挙後に米国債市場が急落する中で日本国債市場も一段安(利回りは上昇)となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド(以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

○インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当作成期は、合併を巡る思惑などから大きく上昇したエネルギー株や、米国大統領選挙後に需要増加期待で堅調となった非鉄金属株の保有がプラス要因となりました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメрилリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。当作成期初から金利は低下(債券価格は上昇)傾向となりましたが、2016年7月末と11月中旬の2回にわたる金利上昇(債券価格は下落)を受けて、リターンはマイナスとなりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第35期	第36期
	2016年6月16日 ～2016年9月15日	2016年9月16日 ～2016年12月15日
当期分配金 (円)	—	—
(対基準価額比率) (%)	—	—
当期の収益 (円)	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,353	2,356

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるインディア・エクイティ・オープンの組入比率を高位に保つことを基本とします。

○インディア・エクイティ・オープン

インド経済については、強気の長期見通しを維持しています。企業業績は、需要の拡大や低い金利、上向きの投資サイクルなどに支えられて今後は徐々に回復傾向を辿ることが期待されます。非合法資金のあぶり出しを狙った高額紙幣廃止を受けて、国民の納税に対する意識が改善すると見られ、税収の増加が見込まれることから、政府のインフラ投資がさらに加速する可能性もあります。国内の政策対応の進展や景気の動向だけでなく、外的要因にも留意しつつ、選別投資を行って参ります。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。欧米国債市場の変動性が高まっていることから、国内だけでなく海外の状況も注視しながら運用を行って参ります。

お知らせ

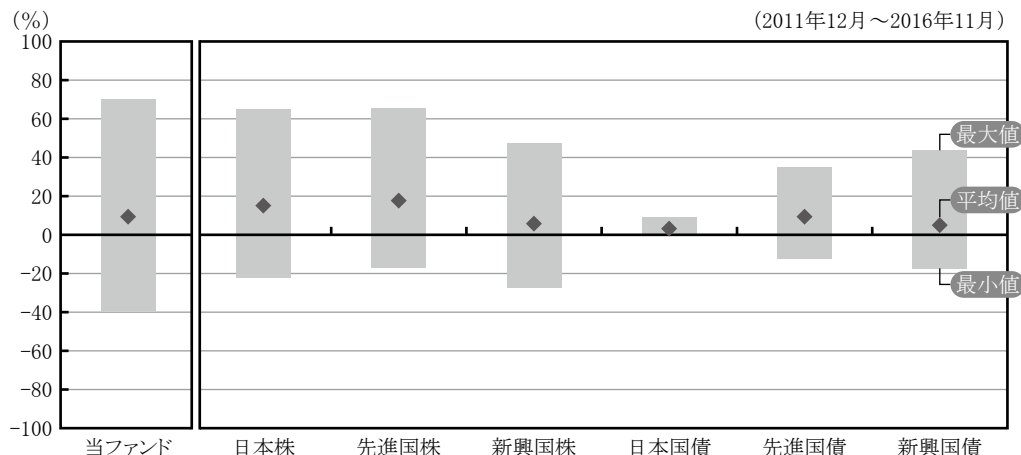
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2007年12月18日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年3月、6月、9月、12月の各15日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	9.3	15.1	17.7	5.7	3.1	9.3	5.0
最大値	70.1	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-39.4	-22.0	-17.1	-27.5	0.5	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2011年12月から2016年11月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債:NOMURA-BPI国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

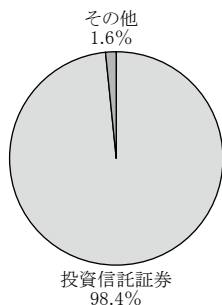
○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

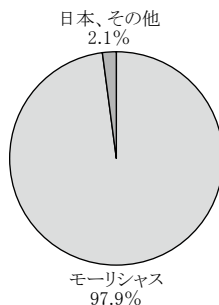
ファンド名	第36期末 2016年12月15日
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	97.9%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

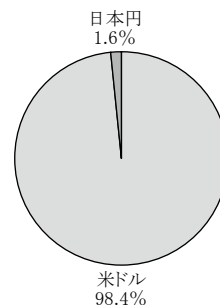
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第35期末 2016年9月15日	第36期末 2016年12月15日
純資産総額	12,249,288,193円	12,284,152,635円
受益権総口数	16,229,470,847口	14,643,093,193口
1万口当たり基準価額	7,548円	8,389円

* 当作成期中(第35期～第36期)において追加設定元本額は824,020,317円、一部解約元本額は3,578,458,433円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2015年9月1日～2016年8月31日)



○1万口当たりの費用明細

(2015年9月1日～2016年8月31日)

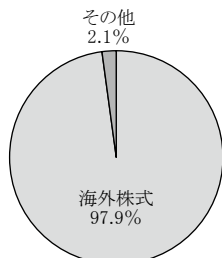
当該期間のFinancial Statements(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:39銘柄)

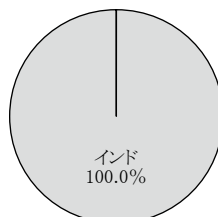
(2016年8月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	8.1%
2	Housing Development Finance Corporation Ltd	銀行	インド	6.7%
3	Larsen & Toubro Ltd	資本財	インド	5.0%
4	Tata Consultancy Services Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	4.6%
5	Tata Motors Ltd DVR Shares	自動車・自動車部品	インド	4.6%
6	ITC Ltd	食品・飲料・タバコ	インド	4.1%
7	Reliance Industries Ltd	エネルギー	インド	3.7%
8	Dr. Reddy's Laboratories Ltd	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.6%
9	LIC Housing Finance Ltd	銀行	インド	3.6%
10	Tata Motors Ltd	自動車・自動車部品	インド	3.4%

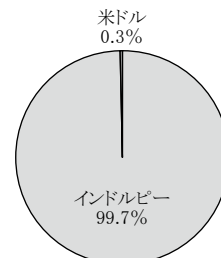
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

(計算期間 2015年2月26日～2016年2月25日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

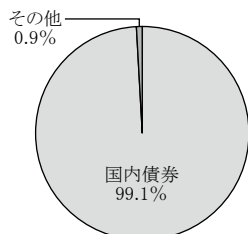
項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	23円 (15) (2) (6)
(b) その他費用 (監査費用)	4 (4)
合計	27

○組入上位10銘柄

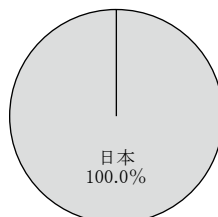
(組入銘柄数:26銘柄)

	銘柄名	種別	国・地域	比率
1	第285回利付国債(10年)	国債	日本	7.5%
2	第80回利付国債(20年)	国債	日本	6.4%
3	第75回利付国債(20年)	国債	日本	5.5%
4	第63回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
5	第48回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
6	第42回利付国債(20年)	国債	日本	5.0%
7	第67回利付国債(20年)	国債	日本	4.8%
8	第311回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
9	第298回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
10	第284回利付国債(10年)	国債	日本	4.6%

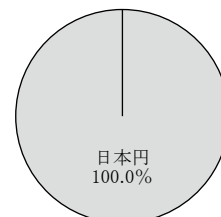
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2016年2月25日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。